

カムチャツカ地震の教訓を生かせ

津波発生時には水門閉鎖などの情報提供を | 9月定例会で一般質問



■一般質問をするかんの9月4日

私は9月4日、市議会9月定例会で一般質問をしました。テーマは①災害対策について②留守家庭児童育成センターについて③名神湾岸連絡線について④の3項目。石井登志郎市長をはじめ、市幹部が答弁しました。

II 2面に関連記事

災害対策については、7月30日に発生したロシア・カムチャツカ半島東方沖の地震への対応を教訓にして、南海トラフ地震の対策を強化する観点から質問しました。

市はカムチャツカ地震の際、「決して海岸や河川に近寄らず、安全を確保してください」と呼びかけましたが、多くの市民はどのような避難行動をとればいいのかについて戸惑いました。

西宮市議会議員

かんの雅一

まさかず

私は新しい新川水門について「南海トラフ地震では、移動に時間がかかったり、行くまでの道路が封鎖されたりすることも想定される。早急に遠隔操作できる体制を整えるように県に求めるべきだ」と訴えました。



■新しい新川水門＝今津港

令和5年度末に完成した新しい新川水門については遠隔操作をできる体制はなく、カムチャツカ地震の際も県の担当者が水門まで行って操作盤を使って閉鎖しました。

水門の遠隔操作の早期実現を

私は「新しい新川水門などの津波防災インフラの作動状況など、地域に必要とされる情報を提供するべきだ」と訴えました。市は「水門等の海岸保全施設の閉鎖については、市民が適切な避難行動をとるためにも、逐次最新の情報を提供することが望ましい。国や県などと協議する」と答弁し、前向きに検討する方針を示しました。

なぜ防災マップで多数の誤りが生じたのか？

私は市が8月に全戸配布した令和7年発行の西宮市防災マップで計25か所の誤りがあり、市が正誤表を防災マップに挟み込む対応で済まそうとしたことを追及し、「なぜ防災マップで多数の誤りが生じたのか」と質問しました。

市は「チェック体制の不備が原因であり、深くお詫び申し上げます。今回の記載誤りが市民を間違えた避難行動に導く恐れがあることについて真摯に反省している。今後は作成や手続きに関するチェックリストを作成し、より多くの職員でチェックする」と答弁しました。

西宮市政報告

かんの新聞

第42号

年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

市は市議会9月定例会に乳幼児等及びこども医療費助成制度を拡充する条例案を提出し、可決されました。1歳から中学3年生までの所得基準額以上の世帯の子供と全ての高校生世代の通院にかかる医療費を無償化するもので、来年1月に施行します。これにより18歳までの医療費の完全無償化が実現します。

所得基準額は扶養義務者(父母等)全員の市民税所得割額の合計が23万5千円、おおよね世帯年収800万円程度に相当します。対象となる子供は約4万1千人。

現行では、今回の対象になる子供が医療機関に通院した場合、1医療機関当たり1日800円を限度額とする医療費を自己負担し、月3回目以降は無償になっています。

全ての0歳児と1歳から中学3年生までの所得基準額未満の世帯における通院と入院の医療費はすでに無償になっています。

市は制度拡充に伴って来年1月から2月までの2か月の医療費の増額分などとして1億1800万円を盛り込んだ補正予算案を9月定例会に提出して承認されました。医

乳幼児等及びこども医療費助成制度拡充の概要

現行制度	乳幼児等医療費助成制度		こども医療費助成制度	
	0歳	1歳～小3	小4～中3	高1～高3
所得区分	基準額以上	通院:800円、入院:無料		
	基準額未満	通院:無料、入院:無料		

令和8年1月から実施

	乳幼児等医療費助成制度		こども医療費助成制度	
	0歳	1歳～小3	小4～中3	高1～高3
所得区分	基準額以上	通院:無料、入院:無料		
	基準額未満			

療費は3月から翌年2月までが予算年度となっており、3月分は令和8年度当初予算に計上します。年間ベースでは約6億円の増額で、令和8年度当初予算以降はこれに相当する金額が計上されます。

来年1月から

こども医療費助成制度などを拡充
18歳までの医療費を完全無償化

お待ちしております!!

定期送付のご案内

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。

地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想も書き添えいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101
かんの雅一宛

メール・FAXでのお申し込みは
本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説

学びの多様化学校とは何?

西宮市が不登校対策の一環として設置を検討している学校。不登校児童・生徒の実態に配慮し、登下校時間の柔軟化や教育課程・授業時数の工夫、心身不調時における別室利用をはじめとする柔軟な対応などを実施できることが特徴です。文部科学省は全国で300校の設置を目指しています。設置形態は「学校型」や「分教室型」、「コース指定型」、「分校型」などさまざま。令和6年度における本市の不登校児童・生徒数は小学生が499人、中学生が737人。



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。昭和60年に産経新聞社に入社。平成27年1月に退社し、同年4月の市議選に初当選。令和5年4月の市議選で3選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会会長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。防災士。保育士。

次号は令和8年2月の発行予定です

かんの雅一 事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一

検索

公共施設の修繕・更新の遅れが深刻化

先送りの総額は657億円 牧みゆき議員が指摘 設備の不具合が多発

学校施設や公民館など市の公共施設の修繕・更新の遅れが深刻化しています。私が所属する「会派・ぜんしん」の牧みゆき議員が調査し、9月定例会の一般質問で明らかにしたところでは、修繕・更新の先送り件数は計877件で、総額は約657億円に達しています。

令和6年度決算の普通会計の実質単年度収支は約14億9千万円の大幅赤字になっており、厳しい財政状況が長期間にわたって続いています。このため、公共施設の修繕・更新を実施する財源は十分でないのが実情です。

施設別では、修繕・更新の遅れが最も多いのは学校施設で617件、総額は約553億円。続いて市営住宅が143件、総額約67億円です。

修繕・更新の遅れによる不具合は各施設で多発しています。市立西宮東高等学校(古川町)のプールで底面のシートやクッション材が浮かび上がる不具合が発生し、令和6年度からプールを使用できなくなりました。



■市立西宮東高等学校のプール=古川町(6月11日撮影)

牧議員の調査では、市立広田小学校(愛宕山)で漏水が発生し、トイレを使用できなくなったり、給食がストップしたりしました。他の学校施設でも教室の床が抜けたり、天井のコンクリート片が落下したりする事例が報告されています。

また、プレラホールや中央公民館、男女共同参画センター ウェーブなどが入る複合施設「プレラにしのみ

や」(高松町)の空調設備の一部が故障したり、六湛寺町の市民会館(アミティ・ベイコムホール)の天井部分にある反響板が故障したりしました。

これらのケースはいずれも適切な時期に修繕・更新を実施していれば、防げた事案です。

市は「財政状況等により、適切な時期に修繕・更新ができなかったことが市民利用に影響を与えている要因の1つになっていることは否めず、重要な問題だと認識している」と答弁し、牧議員の指摘を認めました。

「全ての公共施設やインフラを本来の時期に修繕・更新するために必要な費用を精査し、財政構造改善実施計画の収支目標、今後の長期財政見通しに反映すべき」との牧議員の主張に対しては「計画そのものの見直しは考えていない」「中長期的な収支見通しにおいては、これまでの投資的事業費の推移に一定の上積みしたものを必要額として見込んでおくことが現実的」と消極的な答弁に終始しました。

市は10月25日発行の市政ニュースで財政構造改善の特集記事を掲載。令和6年度決算の普通会計の実質単年度収支は約14億9千万円の大幅赤字であるにもかかわらず、「実質単年度収支が改善」との見出しをつけて「予測していた赤字が大幅に圧縮されました」と強調しました。私は深刻な財政状況への市の認識の甘さを感じます。

私たち「会派・ぜんしん」は公共施設の維持管理体制の強化をはじめ、市民サービスの充実を図る財源を確保するため、当局に対し行政コストの徹底した削減を求め、そのための具体策を提案していきます。



■甲子園警察署=甲子園七番町

浜甲子園で刺傷事件 「不用意にドアを開けないで」と甲子園警察署

浜甲子園の住宅で8月26日午前、80、90代の夫婦と70代男性の3人が切り付けられ、胸や顔などを負傷する事件がありました。甲子園警察署は市内在住の39歳の無職男を殺人未遂の疑いで逮捕しました。

甲子園警察署の調べでは、この住宅には80代の女性と90代の男性の夫婦が暮らしており、隣に住む70代の男性は悲鳴を聞きつけ、助けに來たとみられています。70代の男性は襲われた後、300メートルほど男を追いかけて、通報で駆け付けた警察官に「あの男にやられた」と説明したそうです。

現場は閑静な住宅地で、多くの住民が今回の凶悪事件に大きなショックを受けています。

甲子園警察署は当面、この地域周辺を重点的に警戒する方針で、警察官の巡回の回数を増やすことにしています。

甲子園警察署は事件に巻き込まれない一般的な知恵として①知らない人が自宅を訪問した場合、インターフォン越しに対応し、不用意にドアを開けない②自宅周辺などを不審者がうろついている場合、迷わず110番通報する③夜間などに人気のない場所に出歩かないなどをあげています。

不審者がいれば、迷わず110番通報を

一般質問

劣悪な環境の早期解消を

留守家庭児童育成センター 待機児童や過密状態が発生

私は9月定例会の一般質問で留守家庭児童育成センターについて取り上げました。市立南甲子園小学校の敷地内にある南甲子園留守家庭児童育成センターが定員を大幅に超える児童を受け入れて過密状態になっており、子供たちの健康状態を心配する声が多いことを受けて質問しました。



■南甲子園留守家庭児童育成センター=南甲子園

状況の緩和の措置を講じることは困難」と強調。放課後の特別教室などの一時利用(タイムシェア)の検討を進める方針を示しました。遊休施設や公的施設のうち旧南甲子園幼稚園の活用については「老朽化に伴う改修工事のほか、利用する児童の年代の違いによるトイレや手洗い場などの改修工事が不可欠であり、それに伴う財源の確保も必要」と否定的な見解を示しました。公的施設の活用については「学校から離れた場所へ移動することによる運営上の課題などを踏まえて検討する」と述べました。

私は「当局には少子化によって将来、育成センターや学校施設に空きが生じることが見込まれている中で育成センターの新規施設をつくることはできないという強い方針がある」と指摘。「保護者には今、子供たちが置かれた劣悪な環境を早急に解消してほしいという強い思いがある。タイムシェア方式で課題の解決を図っていけると考えるのであれば、早急に導入し、待機児童や過密状態の解消を図っていただきたい」と求めました。

市内の小学校と義務教育学校の計41校区全部に育成センターがあ

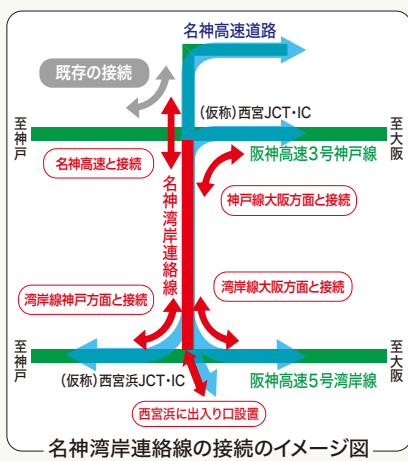
り、34校区で定員を超えており、このうち20校区で育成センターに受入困難な待機児童が発生しています。

名神湾岸連絡線事業の説明を

私が一般質問で取り上げた名神湾岸連絡線については、国土交通省が令和5年6月の地元説明会の開催を計画したにもかかわらず、直前に取りやめた経緯があります。これ以降2年以上が経過していますが、国も県も市も連絡線事業の現状や今後の見通しについて地域住民に説明していません。

私は「国や県、市は連絡線事業の現状や今後の見通しについて説明すべきだ」と訴えました。

市は「事業により影響を受ける市民や事業所の皆様に対し、できるだけ早期の段階に説明することは重要」と強調。早期に説明会を実施するよう国に求める方針を示しました。



14億9千万円の大幅赤字

令和6年度決算の普通会計

多額の基金を取り崩す

人件費が大幅増

市議会9月定例会で認定された令和6年度決算の普通会計(一般会計と「公営事業会計以外の特別会計」を合算した会計区分)の実質単年度収支は約14億9千万円の大幅赤字でした。

市はこの収支不足を補うため、財政基金から19億円を取り崩しました。これにより、6年度末の財政基金と減債基金の合計額は前年度比約16億円減の約187億円になりました。

歳入では、個人市民税が定額減税の実施で減りましたが、法人市民税や固定資産税及び都市計画税が増えたため、市税収入全体は約7億円の増加になりました。

歳出では、人件費が定年年齢の段階的引き上げに伴う定年退職者の発生による退職手当の増加や人事院勧告に基づく給与改定、会計年度任用職員の報酬改定などにより、前年度に比べ約15億6千万円の大幅増になりました。